

濃縮型のボディソープ・ヘアケア製品

[株式会社資生堂]

活用企業イメージ

- 化粧品やペットのケア用品の製造販売を通じた SDGs に関する取り組みを検討中の企業
 - **目標 11 住み続けられるまちづくりを** 地域の特産品を活かした製品に
 - **目標 12 つくる責任 つかう責任** 環境負荷を低減した製品に

技術内容

- ボディソープ・ヘア洗浄製品を濃縮することにより、製造・梱包・運搬時にかかるエネルギー負荷を低減する

技術の特徴

- 濃縮された α ゲルを製造し、従来のボディソープ・毛髪洗浄製品より10倍濃いものを製造する
- 使用前に水で希釈することで、通常の方法で製造した製品と同様に使用することができる
- お客さまのメリット
 - ✓ 持ち運びが軽いため、飛行機への持込みやスポーツクラブなど外出先での使用に向く
 - ✓ 店舗での買い物時の荷物が小型・軽量化できる
 - ✓ オンラインショップでの発注時も、配送荷物を小型・軽量化できる
 - ✓ 保管時に必要なスペースの削減
 - ✓ 廃棄時のゴミ容量削減
 - ✓ ボディソープやシャンプーを使用する前に、自分で希釈する（混ぜる）楽しさ

開発の経緯

- 資生堂は2009年3月エコファースト企業として、環境省から認定され、これから取り組む活動を「エコファーストの約束」として宣言した。それ以降、サトウキビ由来のポリエチレン容器の採用など、地球環境の保全に向けた取り組みを数多く行ってきた
- 資生堂では、品質を損なわずに少ないエネルギーで製品を製造する方法を種々検討してきた

活用例

水に希釈して使用する濃縮タイプの・・・

1. 人間のボディ、毛髪用



2. ペット用



- ・ ボディソープ
- ・ シャワージェル
- ・ シャンプー
- ・ リンス
- ・ コンディショナー

果物、お茶の香りなどを香料として使用し、
地域の特徴を活かした製品の開発も



活用への補足・提供条件等

- ・ 資生堂は2020年3月、世界で初めて化粧品業界から「WIPO GREEN」にパートナー企業として参画した
- ・ 本技術はWIPO GREEN データベースにも掲載

Partner of
WIPO GREEN

<https://www3.wipo.int/wipogreen/en/>

- ・ 製造設備をお持ちでない企業の場合、化粧品 OEM 会社への製造委託により企画した製品を製造できる（OEM 会社を含めた許諾条件とする）

特許情報

- ・ 特許第 4613258 号
- ・ 特許第 4912483 号
- ・ 特許第 5248690 号
- ・ 特許第 4558098 号

その他関連情報

- ・ WIPO GREEN データベースにも掲載している「乳化化粧品の低エネルギー製造技術」を用いることで、製造～梱包～配送の行程で環境負荷を低減した化粧品をお客様にお届けできる